

第1回 首都圏私立3大学

学生の生活と意識アンケート 結果速報



2013年1月発行

専修大学人間科学部社会科学「社会調査実習A(見田クラス)」履修者一同
専修大学人間科学部社会科学非常勤講師 見田朱子

このたびは、私たちのアンケート調査にご協力いただき大変ありがとうございました。本調査は、首都圏の3私立大学（慶應義塾大学、成蹊大学、専修大学：以下、慶應、成蹊、専修）の学生の日常生活や考えを調べたものです。本速報では、集計結果のいくつかをご報告いたします。

1. 回答者はどのような人たちだったか

全体で465人から回答を得ました。回答者の学年と性別をそれぞれ大学別で調べました。各大学で2クラスずつの調査ご協力をいただきました。

	1年	2年	3年	4年	合計人数	男性	女性	合計人数
慶應	0.0%	52.9%	30.4%	16.7%	138	39.4%	60.6%	142
成蹊	39.9%	32.2%	26.2%	1.6%	183	13.1%	86.9%	191
専修	84.9%	4.0%	6.3%	4.8%	126	37.8%	62.2%	127
合計(人数)	40.3%(180)	30.6%(137)	21.9%(98)	7.2%(32)	100%(447)	28.0%(129)	72.0%(331)	100%(460)

※学年はその他・無回答の18名、性別は無回答5名を除いた。

＜学年＞

専修では1年生の必修科目であったため1年生が極めて多く84.9%でした。一方慶應では2年生以上が通う三田キャンパスで調査したために、逆に1年生の回答者は0%となっています。

＜性別＞

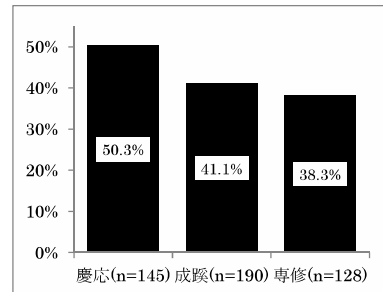
全体として女性の割合が72.0%となっていますが、大学別にみると、慶應60.6%、成蹊86.9%、専修62.2%と、特に成蹊大学の女性の多さが目立ちます。

2. 大学で、何をしている？～態度と意識～

①「大学は学問をしに行くところだ」！？

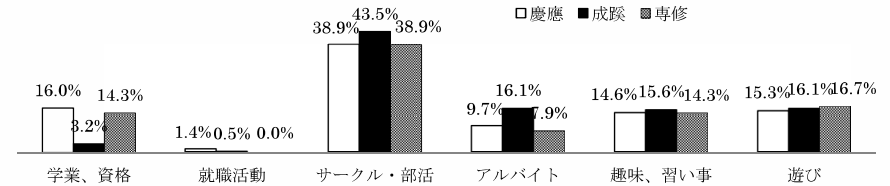
「大学は学問をしに行くところだ」という意見に対してどのように思うかを質問しました。「そう思う」という回答は慶應の50.3%が3大学の中で一番多い結果となりました。性別や学年では大きな差はみられませんでした。

*非該当・無回答の2名は除く。



② 大学生で最も充実しているもの

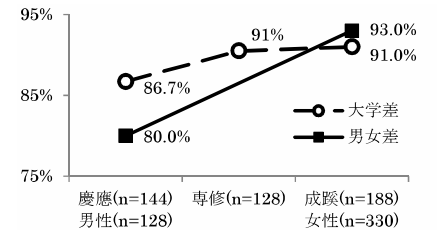
大学生活の中で最も充実しているものについて質問したところ、全体としての傾向は似ている中で、「学業、資格」が充実しているという回答が、専修と慶應は15%前後でしたが成蹊は3%でした。「アルバイト」が充実していると答えた人は反対に、専修と慶應で8%程度でしたが、成蹊は16%と高くなりました。*無回答・非該当者25名は除く。



3. 大学生のコミュニケーションツール

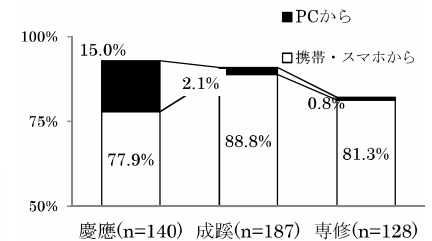
①インスタントメッセージ

インスタントメッセージ（IM）は全体として「よく使う」という回答が特に多くみられましたが、大学間の差よりも男女差の方が大きく、女性（93.0%）の方が男性（80.0%）よりもIMヘビーユーザー度が高いようです。



③ SNS へのアクセス方法

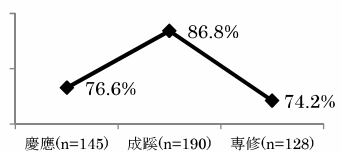
3大学とも SNS の利用者は多いのですが（慶應 92.9%・成蹊 90.9%・専修 82.0%）、アクセス方法別に分けると、慶應では PC からが 15.0% 分と高い割合を占めていました。*非該当・無回答は除く。SNS を利用していない回答者の%は非表示。



4. 大学生らしいこと～オシャレと恋愛～

①山道を登って登校する学生は、オシャレなんて・・・！？

登校時のファッションに気を遣っている人の割合は、成蹊が86.6%と最も高く、専修が74.2%と最も低い結果になりました。成蹊の吉祥寺に対して、大学に登校することを「山に登る」とも言う専修生田キャンパスでのアンケートが影響しているのでしょうか。*非該当・無回答の2名は除く。



②男の方が外見重視！？

恋人を選ぶ際に重視するものについて、質問をしました。大学別では大きな差はありませんでしたが、特に外見を「非常に重視する」割合については男性が24%、女は9%と、男女差が観察されました。*非該当者10名は除く。

